

令和6年度 第1回 東海村子ども・子育て会議 議事録

会議名等	令和6年度 第1回 東海村子ども・子育て会議
日時	令和6年7月22日(月) 14:00~14:40
場所	東海村役場5階 原子力視察研修室
出席委員	諏訪 健一郎, 大森 奈穂美, 高橋 登志子, 鈴木 淳子, 鹿志村 茂, 諏訪 湖弓, 千葉 香, 鈴木 香代, 中村 宏, 近藤 壽子, 境 洋子(副会長), 中川 輝夫(順不同・敬称略) 15名中12名出席
事務局	白石部長, 千葉課長, 高橋副参事, 志村課長補佐, 渡邊課長補佐, 浅野係長, 飯塚係長, 海東主事(記録者)
次第	1 開会 2 部長挨拶 3 副会長挨拶 4 諮問(第三期東海村子ども・子育て支援事業計画) 5 議事 (1) 幼児期の教育・保育の確保に関する状況について (2) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について (3) 「第三期東海村子ども・子育て支援事業計画策定」スケジュールについて 6 その他 7 閉会
	<p>【事前配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・資料1(幼児期の教育・保育の確保に関する状況) ・資料2(地域子ども・子育て支援事業の進捗状況) ・資料3(「第三期東海村子ども・子育て支援事業計画」策定スケジュール) <p>【当日配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料(第三期東海村子ども・子育て支援事業計画地域子ども・子育て支援事業一覧)
議事内容等	<p>1 開会</p> <p>2 部長挨拶</p> <p>3 副会長挨拶</p> <p>新子育て安心プランのとおり, 約14万人を目標に保育の受け皿整備が急がれている。また, 本年は第三期東海村子ども・子育て支援事業計画策定の年であり, 皆様の忌憚のない御意見を賜り, 受け皿整備に努めたい。</p> <p>4 諮問</p> <p>5 議事(副会長による議事進行) ※事務局が【資料1】~【資料3】により説明。</p> <p>(1) 幼児期の教育・保育の確保に関する状況について【資料1】</p> <p>(2) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について【資料2】</p> <p>(3) 「第三期東海村子ども・子育て支援事業計画策定」スケジュールについて【資料3】</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>

■ 審議内容

(1) 幼児期の教育・保育の確保に関する状況について

(2) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について

【委員】

実績において不足がない分には問題ないが、1・2歳の3号認定の不足している70人の内訳は。

【事務局】

70人の内、1歳児が50人、2歳児が15人。残り5人は認可外保育を利用するなどしていると思われる。

【委員】

不足について、今年度に解消される予定か。

【事務局】

今年度中に小規模保育事業が2施設開所予定ではあるが、今年度中の解消を見込める状況ではない。

【委員】

不足している70人について、村としてはどのように解消していく見通しか。また、入所保留となっている方の背景について、詳細に分析したのを知りたい。村では保育ニーズが高く、入所保留となっている一方、他の自治体では小規模保育事業や企業主導型保育事業の撤退などの話も聞く。今後の人口の見通しをどう考えるかにもよると思うが、次回の会議ではより具体的な説明をお願いしたい。

【事務局】

70人という数字については、村としても大きい数字だと認識している。
第三期計画を策定する中で、今後の量の見込みを踏まえ受け皿を確保しなければならないため、村全体としてどう整備していくか、民間事業者の皆様意向調査等をさせていただきながら進めて行く。

(3) 「第三期東海村子ども・子育て支援事業計画策定」スケジュールについて

(質疑等無し)

4 その他

【副会長】

保育施設等利用せず、自宅で不適切保育を行っていると思われる家庭にはどのような支援を行っているのか。

【事務局】

今年度から母子保健と児童福祉を一体的に対応するため、こども家庭センターを開設し、子ども家庭支援員を通して適切な養育に繋がる支援を行っている。

以上